

感染拡大下の文化活動の制約や困難をのりこえ、 早稲田サークル文化の発展をきりひらこう！

- この秋冬期、発表会や演奏会などの各サークル諸企画を成功させよう！
- サークル活動の魅力を一年生にさらに広め・発信していこう！
- サークルどうしが力を合わせ、活動上・運営上の問題を協力して解決しよう！
- 早稲田唯一のサークル連合体・文連の団結を強化しよう！

文化団体連合会

コロナ感染拡大下でも輝きを放つ早稲田サークル文化
すべてのサークル員のみなさん！ 後期開講以降も
大学当局によるサークル活動の制限や対面での新歓活
動禁止が継続するなか、演奏会や発表会、大会への参
加ができなくなるというサークル活動上の大きな困難
に直面しながらも、どのサークルも今日まで地道に・
ねばり強く稽古や練習、研究活動にとりくんできてい
ると思います。みなさん、大変ご苦労さまです。

キャンパスに学生が集まることさえままならないな
かにあっても、私たちは、新入生にサークル活動の魅
力をくり返しよびかけ続けてきました。同時に、学生
会館施設の使用人数や活動時間の制限などサークル活
動にとってきわめて厳しい条件があるなかでも、共同
作業や共同研究を積みかさねてサークル活動をくりひ
ろげています。このことじたいが、4月からキャンパ
スに通うこともできず、オンライン授業によって孤立
し不安を抱えている一年生をはじめ多くの早大生にと
って、学生生活の大きな支えになっているとって過
言ではありません。

打ち続く新型コロナウイルスの感染拡大によって、なお社会
全体は多くの文化・芸術活動や社会活動が制限されたり
自粛を余儀なくされたりしていますが、これに抗して
早稲田のサークルは仲間と協同して研究活動や作業
に打ち込み切磋琢磨して文化・芸術活動を自由闊達に
くりひろげ、サークル文化の火を絶やすことなく燃や
し続けているのです。こうした早稲田サークル文化活
動の営為は、こんにちの社会状況のもとで光を放っ
ているとってよいでしょう。私たちは、サークル活動
の逆境で底力を発揮しサークル文化を断固としてつ
くりだしてきたことに誇りを持ち、さらにこの秋冬期、
早稲田における文化・芸術活動の発展のためにがんば
ろうではありませんか。

サークルどうしが協力してサークル活動の前進をき
りひらいている今秋期

サークル活動上の種々の制限があるなかでも、文連
加盟サークルはすでにこの秋、各サークルにおける発
表会や演奏会、演劇公演などの諸企画をくりひろげて
います。こうした各サークルの活動の中心でとりわけ
幹事のみなさんは、感染対策を行ないつつ稽古や練習、
研究活動や新歓活動といった諸々の活動に責任をもち、
サークル全体を引っ張ってきていると思います。大変
ご苦労さまです。

同時に、加盟サークルは相互に協力してサークル活
動上の困難を共有し打開するとりくみもおこなってき
ました。9月以降、文連として「サークル相談所」を
設置し、キャンパスや学生会館に訪れる一年生にたい
して興味あるジャンルのサークル案内や問い合わせの
仕方をはじめ、各サークルの活動情報をどしどし紹介
して文化系サークルの息吹を伝えました。また、各サ
ークルの紹介や諸企画の告知を掲載したサークル交流
誌「文化の交差点・電子版」を発信し、サークルのジ
ャンルの違いをこえて誌上交流を行なっています。

さらに、学生会館施設の使用人数制限・活動時間制限の
問題を打開するために、「緊急アンケート」をオンラ
インで実施しサークル員の声を形にしてきました。集
計結果を学生会館に貼りだし・ツイッターで拡散する
ことをつうじて、個々のサークルの問題が多くのサー
クルにとっても共通した問題であることを明らかにし、
サークルの違いをこえ直面している問題の共有をはか
ってこきました。サークルからの不満の声の高まりを
前にして早大当局・学生部は、学生会館施設の使用人数
制限の緩和や、サークル登録書類の提出期限の緩和をう
ちだしたのです。

このように、各サークルがそれぞれの場で奮闘するとともに、相互に協力してサークル活動の条件を着実につくりかえてきています。この地平を確認しサークルどうしの結束を強化してきたことの意義を打ち固めようではありませんか。

**早稲田サークル文化をさらに発展させよう！
サークル文化活動の魅力を一年生に伝え、サークル活動への参加をいっそう呼びかけよう！
サークルどうしが力を合わせ、活動上・運営上の問題を協力して解決しよう！**

この秋冬期に各サークルが設定している音楽演奏会や演劇公演、発表会などの諸企画をぜひとも成功させましょう！ これをつづじてまだサークル活動に参加していない一年生に、サークル活動の魅力ややりがいをどしどし伝えていきましょう！

そのためには、現時点私たちが行なっているサークル活動を一步も後退させることなく継続していくことがきわめて大切です。すべてのサークル活動にとって生命線である新歓活動や通常の活動が制限され続けることは、早稲田のサークル文化の存続にかかわる大きな問題だからです。

サークル補助金の大幅な増額を求めよう！ 逼迫するサークル財政への追加的な支援策を求めよう！

現時点の最大の問題は、サークル活動を保障する財政的支援が不足していることです。音楽サークルをはじめとした多くのサークルが、感染対策と練習や稽古を両立させるため外部の有料施設を使わざるを得ないのが現状です。普段の活動の積みかさねなしにはサークル活動の質を向上させることができないにもかかわらず、感染対策をしながら活動しようとするほどサークル員の費用負担が増えてしまう…。ただでさえ3月以降アルバイト収入が減少している学生が少なくないなかで、こんな悪循環がこの先も続かならばサークル活動への参加を続けられないメンバーが出まったり、通常の活動したいが立ち行かなくなったりしかねません。

また、さまざまな困難をのりこえ音楽演奏会や演劇公演の発表の場を持たせたとしても、感染対策で会場の客席数を減らさざるを得ないために収入が減ってしまったり、オンライン配信をするための新たな費用負担が避けられなかったりするのです。すでに多額の赤字を抱えているサークルも出ています。

早稲田のサークル文化を守り・発展させるためには、逼迫するサークル財政にたいする大学当局によるさら

なる支援が絶対に必要です。とくに、サークル補助金の大幅な増額が喫緊の課題です。「イベント」にかかわるかどうかが年度初めの申請をしているか否かにかかわらず、通常活動で使用した外部の有料施設の費用に対する特別援助や、演奏会や発表会などのホール代の赤字補填など具体的な支援を求めましょう。現行のサークル補助金制度に縛られない柔軟な運用を大学当局に求めましょう。また、学生会館の活動スペースの不足を解消し、感染対策とサークル活動を両立させていくために、キャンパスの空き教室の開放を求めましょう。

**一年生にサークル活動の魅力をさらに広めよう！
対面でのサークル新歓活動の保障を求めよう！**

今年は4月の新歓活動の中止以降、対面で一年生を勧誘する機会がないため、少なくないサークルが新入部員の減少にも直面しています。このことは個別サークルにとどまらず、「早稲田らしさ」の源である自由闊達な学生サークル文化全体の存続にもかかわる切実な問題です。後輩にたいして伝統ある早稲田サークル文化の息吹を伝えていくために、来年以降の新歓活動の保障を大学当局に求めましょう。また、一年生にサークル活動の魅力をより豊かに伝えていくために、どんな工夫をしていけばよいか、サークルどうしが協力してできることはないか協力して考えていきましょう。ぜひ文連まで意見を寄せて下さい。

サークルが行なう感染対策への支援を求めよう！

さらにいま、社会的に感染拡大が再び問題になっている局面において、現状のサークル活動を後退させないために、サークルが行なう感染対策への財政的支援や消毒用品の充実を求めましょう。各サークルの活動に見合った感染対策を実現していくために、会議室やラウンジへのパーティションや、換気のためのサーキュレーターなどの調達費用をサークルに対して全面的に支援するよう求めましょう。

サークル員のみなさん。いま、サークルどうしの結束を強化するときです。学内唯一のサークル連合体である文連のもとにサークルの規模やジャンルの違いをこえて団結し、今後のサークル活動のためにサークルどうしが力を合わせて困難を打開していこうではありませんか！（2020年11月27日）

ご意見・お問い合わせは
こちらまで→

